

<b>タイトル</b>	平成 30 年度 一般入試 (後期日程) 医学部 (保健学科) 小論文Ⅱ問題
<b>評価の ポイント</b>	<p>自然科学評論および医療評論に対する文章読解力、計算力、思考力、データを読み取る能力、問題解決能力を評価した。</p> <p>評価にあたっては、次のような点を特に重視した。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・問題文の意図を読み取っているか (著者の考えを要約するのか、解答者の知識が問われているのか、解答者自身の考えを述べるのか、など)。</li><li>・著者の考えを要約するなどの、本文の内容を問う問題の場合、内容を正確に理解しており、それをわかりやすく説明しているか。</li><li>・解答者の知識を問う問題の場合、その事柄の説明に必要なキーワードを用いて、正確に内容が説明されているか。</li><li>・解答者が意見を述べる問題の場合、その意見に至った理由が論理的整合性をもって説明されているか。</li></ul>

氏名	
----	--

受験番号	
------	--

医学部保健学科小論文Ⅱ解答用紙 1

(後期日程)

問 1

ニホンミツバチは、セイヨウミツバチの寄生虫であるアカリンダニに対する対抗策を持っていない。ダニを脚で払い落とす行動にミツバチ種間で差があることが推測される。

--

問 2

ダニが産卵から成虫になるまでは、9日以上を要するので、7日間までのミツバチの気管の中の成虫は、外から入ってきた個体と見なすことができるから。

--

問 3

花を訪れたミツバチの体に雄しべから花粉がつき、その花粉が雌しべの柱頭に運ばれる。

--

問 4

エコラベルなどが付いた環境に優しい商品を選んで買う。生物多様性のことをきちんと考えて生産・販売された商品やサービスを選ぶことは、生物多様性に配慮した生産者や事業者を応援することになるから。

--

小計

氏名	
----	--

受験番号	
------	--

医学部保健学科小論文Ⅱ解答用紙 2

(後期日程)

問 5

都市は農村なしではやっていけないように、先進国は自然資源の調達や、商品の販売先として、あるいは工場移転などの資本の投資先として、途上国を常に必要としてきたこと。

--

問 6

(例1) 農産物など自然の価値ないし価格が、その本来の価値に比べて低く評価されているという点が、介護労働者に対する低賃金の現状に似ていること。  
(例2) 農産物や介護は長い時間軸の中で評価されるべきものであるが、いずれも各々の価値が短期的な観点からのみ評価されている点。

--

問 7

介護保険制度における介護報酬を引き上げる等、価格づけ自体を公的な制度の中で行うことや、税金を介護にあて  
ケア労働の評価の改善を通じ介護従事者の賃金上昇を図る等、何らかの再分配の仕組みを導入したりすること。

--

小計

氏名	
----	--

受験番号	
------	--

医学部保健学科小論文Ⅱ解答用紙 3

(後期日程)

問 8

Aさん	40.1
Bさん	34.0

--

問 9

肉はたんぱく質含有量が多いためPRALスコアを増加させ、野菜はたんぱく質含有量が少なく、たんぱく質に比べて相対的にカリウム、カルシウム、マグネシウムの含有量が多いためPRALスコアを減少させる。米はたんぱく質含有量もカリウム含有量も少ないためPRALスコアへの影響が小さい。

--

問10

PRALスコアが高いほど総死亡リスクが上昇する。特に、循環器疾患、心疾患、脳血管疾患はPRALスコアが高値の場合に死亡リスクが上昇する。これに対し、がん死亡リスクとの関連はさほどみられない。

--

問11

PRALスコアが高いほど循環器疾患による死亡リスクが上昇し、NEAPスコアについてもPRALスコア同様の結果が得られたことから、両スコアを下げることで、すなわち、食事の酸性度を下げることにより循環器疾患死亡リスクを減らせると考えられる。肉は両スコアを増加させ、野菜は減少させることから、肉を減らし、野菜の多い食事により循環器疾患死亡リスクを減らせると考えられる。

--

小計